

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	高根沢町
事業名	高根沢町元気あつぷハーフマラソン大会兼長距離走大会
事業主体の名称	高根沢町元気あつぷハーフマラソン大会兼長距離走大会組織委員会
代表者の名称	会長 加藤公博
事業主体の所在	栃木県塩谷郡高根沢町大字石末1825
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> 団体の目的 元気あつぷハーフマラソン大会兼長距離走大会の開催 団体設立時期 平成 7年9月29日 構成員等 町議会、町教育委員会、県体育協会、町体育協会、栃木陸上競技協会、商工会等の関係団体で組織
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>【現状】 本町の平坦な地の利を生かして、町を代表するイベントとしてハーフマラソン大会を開催し、スポーツを通じた健康に対する意識醸成や参加者と地域との交流を図るとともに、元気あつぷむらをはじめとした町の魅力をPRするために取り組んでいる。</p> <p>【課題】 大会参加者は年々増加しており、特に県外からの参加者が多く、地域との交流の機会や町の魅力をPRする機会は増えていますが、これをきっかけとした地域活性化の効果を、大会開催時のみならず他の時期においても継続するためには、これまでに以上に参加者と地域との交流を活発にすることが求められている。</p>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> マラソン等への参加や参観を通して、スポーツに対する興味関心を高めて、健康や体力の保持・増進を促す。 地域の関係団体が連携して大会を開催することによって、地域の一体感を醸成する。 県内外からの参加者との交流を深め、「元気あつぷむら」への回遊などを含めて、地域活性化を図る。
事業概要	<p>【平成30年度】</p> <p>①大会の開催(以下の内容で平成31年1月13日に大会を開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> 競技種目は、ハーフマラソン、10km、5km、2km 参加対象者：一般成人(大学生含む)、高校生、中学生、小学生(1~3年生は親子マラソン) 専用ホームページを開設して県外からの参加者を募集するとともに、平成30年度は、さらなる大会のレベルアップを図るため、関東学生陸上競技連盟所属大学やランニングサークルなどに案内や参加啓発などを行った。 運営面において、大会開催に向けて準備段階から地域の関係団体等が連携を深めたり、大会当日には中学・高校生、民間企業等がボランティアとして多数参加したり、町の一大スポーツイベントに多くの人が関わる機会をつくることで、地域の一体感を醸成や町への愛着度の向上を図った。 大会当日には、「高根沢町に来てよかった」「来年も高根沢町に来よう」「他の時期にも来てみたい」と思う参加者を増やして、地域活性化の効果を上げていくため、②~⑤の取り組みをした。 <p>②町の魅力のPR(平成30年度強化)</p> <ul style="list-style-type: none"> 例年地域の方を中心とした飲食ブース(例えば「高根沢焼きちゃんぽん」など)・物産ブース(「イチゴ」など)の開設しているが、平成30年度はさらにブースを増やし、参加者のおもてなしを強化するとともに、町の魅力のPRをさらに図った。 高根沢町観光協会の観光写真コンテスト入賞作品のパネル展示 大会プログラム等を活用した「元気あつぷむら」などの情報発信 <p>③参加者と地域との交流促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 町内の方を中心とした飲食ブースや物産ブースで参加者に町内の良さを知ってもらうための呼びかけ ボランティアスタッフによる参加者へのおもてなし <p>④開催PRの強化</p> <ul style="list-style-type: none"> チラシ10,000部、ポスター150部、プログラム3,200部の配布予定し、イベントのPRを図った。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<ul style="list-style-type: none"> ◆基本目標:地域コミュニティの再編・再構築、数値目標:本町に対する愛着度 平成31年度までに82% ◆基本目標:就労機会の拡大、施策名:地域経済の活性化、KPI:「元気あつぷむら」の観光客入込数(H26実績)352,084人→(H31)400,000人【H29実績:330,125人】 ◆基本目標:定住人口増加に向けた施策の展開、施策名:高まる連携の充実、KPI:連携して取り組んだ事業数 5事業/年【H29実績:8事業以上】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①実行委員会の開催 ②大会の開催準備 ③大会の開催	①実行委員会の開催 ②大会の開催準備 ③大会の開催	①実行委員会の開催 ②大会の開催準備 ③大会の開催		①実行委員会の開催 ②大会の開催準備 ③大会の開催
事業費	12,498,236	13,458,875	13,344,292	39,301,403	10,650,000
市町支出金 (ソフト事業分)	2,000,000	2,000,000	2,000,000	6,000,000	2,000,000
うち県交付金	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	10,498,236	11,458,875	11,344,292	33,301,403	8,650,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画課 企画調整係
担当者名	棚木 正庸
電話	028-675-8102
FAX	028-675-2409
E-mail	keiei@town.takanezawa.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	高根沢町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	高根沢町元気あっぷハーフマラソン大会件長距離走大会	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
町支出	2,000,000	
参加料	7,573,500	参加者(ハーフマラソン4,000円×1,150人、一般3,000円×761人、親子2,000円×189組、高校生1,000円×70人、小中学生500円×485人)、招待選手50人(参加料免除)
繰越金	1,819,937	前年度繰越金
協賛金等	1,950,855	協賛金、出店料等
計	13,344,292	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	2,480,427	0	0	2,480,427	参加証、入賞者賞品等、スポーツドクター報償、招待選手旅費等
旅費	46,220	0	0	46,220	栃木県陸上競技協会関係者旅費
消耗品費	469,681	0	0	469,681	大会用具等
食糧費	155,600	0	0	155,600	会議費等(お茶代等)、招待選手昼食代等
印刷製本費	516,132	0	0	516,132	プログラム、申込用紙印刷代等
通信運搬費	90,178	0	0	90,178	郵送料
手数料	234,468	0	0	234,468	大会参加申込処理手数料、仮設トイレくみ取り料
委託料	8,005,629	2,000,000	1,000,000	6,005,629	自動判定システム委託、警備委託、走路整備委託等
使用料及び賃借料	29,600	0	0	29,600	発電機・トラスアーチ使用料
償還金、利子及び割引料	10,800			10,800	栃木陸協未登録者返金分
繰越金	1,305,557			1,305,557	
計	13,344,292	2,000,000	1,000,000	11,344,292	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	高根沢町
事業名	たんたん祭り
事業主体の名称	たんたん祭り実行委員会
代表者の名称	委員長 佐藤 靖輔
事業主体の所在	栃木県塩谷郡高根沢町大字石末2053
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・設立年月日 平成21年9月24日 ・団体の目的 地域住民有志が主体となってイベントを開催することで、地域コミュニティの活性化及び地域産業の振興を図る。 ・構成員等 観光協会、町経済懇話会、町農業会議、農協青年部等の地域住民の有志
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>【現状】 従来、高根沢町の夏の風物詩・イベントとして「たかねビア夏祭り」が行政主導で開催されていたが、「行政が主導で開催することが真のまちづくりにつながっていくのか」といった意見等を踏まえて休止となり、代わって、従来のあて職からなる実行委員会ではなく、「人と人のネットワークによってできる祭りをしよう」と若い人たちが中心となって実行委員会を立ち上げ、平成22年に「たんたん祭り」が開催されるに至った。平成26年・平成27年には約10,000人が来場するなど、今や町を代表する祭りとなっている。また、準備から片付けはもちろん、ステージ演出やモニュメントへの火入れや記念花火の打ち上げなど、全体を通して住民主体で実施されており、地域コミュニティの活性化及び郷土愛の醸成、さらには地域活性化に寄与している。</p> <p>【課題】 地域コミュニティの活性化及び郷土愛の醸成の一層の深化に加えて、来場者の増加による地域活性化の効果を高めるためには、祭りへの来場者をさらに増やすなどして、より一層の賑わいを創出する必要がある。</p>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・祭りを通して、地域内及び地域間の一体感を醸成し、自治会をはじめとした地域コミュニティの活性化、担い手育成、ひいては町への愛着度を高める。 ・町内のみならず町外に対しても祭りをPRし、より多くの人に「高根沢町の良いところ」を知ってもらうきっかけを創出することで、町の知名度の向上、地域活性化を図る。
事業概要	<p>【平成30年度】 祭りへの来場者を増やすための以下の取組をすることによって、地域コミュニティの活性化及び郷土愛の醸成、さらには地域の活性化のため、祭りへの来場者を増やすための以下の取組をする。また、交流人口の増を図るため、町外からの来場者に対して町の名所(元気あつぷむら等)をPRした。</p> <p>①住民・自治会・企業等の緊密な連携 <ul style="list-style-type: none"> ・月1〜2回開催した実行委員会の会議は、異業種交流の場になった。 ・模擬店の出店者等にとっては、今後の活動資金の確保や、団体・企業のPRにつながった。 ・出演者にとっては、練習の成果を発表する機会となり、活動のモチベーション向上や新たなメンバー加入につながった。 </p> <p>②祭りの開催 <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：10月27日(土) ・内容：地域住民等や町内企業による模擬店 自治会による餅つき、町湧泉太鼓等の演奏等のイベント 伝統行事「ほうじば」体験や、「どんど焼き」をモチーフとしたモニュメントへの火入れ儀式 お祝いなどの記念花火打ち上げ </p> <p>③開催PRの強化 <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度立ち上げたFacebookへの掲載内容を充実させる。(平成30年度強化) ・チラシやポスターを作成し、実行委員のコネクション等も活用しながら、宇都宮市・那須烏山市・さくら市等の企業や店舗等に配布した。(平成30年度強化)チラシ32,000部配布した。 ・新聞などに記事として取り上げてもらうよう働きかけた。 </p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<ul style="list-style-type: none"> ◆基本目標：地域コミュニティの再編・再構築、数値目標：本町に対する愛着度 平成31年度までに82% ◆基本目標：地域コミュニティの再編・再構築、施策：地域コミュニティの拠点づくり、KPI：自治会加入率 53%以上【H29実績：49.9%】 ◆基本目標：就労機会の拡大、施策名：地域経済の活性化、KPI：「元気あつぷむら」の観光客入込数(H26実績)352,084人ー(H31)400,000人【H29実績：330,125人】 ◆基本目標：定住人口増加に向けた施策の展開、施策：プロモーション活動の推進、KPI：各種メディアに掲載された件数 5件以上/年【H29実績：14件】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①実行委員会の開催 ②祭りの開催準備 ③祭りの開催	①たんたん祭りの開催準備 ②たんたん祭りの開催	①たんたん祭りの開催準備 ②たんたん祭りの開催		①たんたん祭りの開催準備 ②たんたん祭りの開催
事業費	4,964,854	4,808,693	4,685,830	14,459,377	4,330,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,300,000	1,300,000	1,300,000	3,900,000	1,300,000
うち県交付金	650,000	650,000	650,000	1,950,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	3,664,854	3,508,693	3,385,830	10,559,377	3,030,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画課 企画調整係
担当者名	棚本 正麿
電話	028-675-8102
連絡先 FAX	028-675-2409
E-mail	keiei@town.takanezawa.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	高根沢町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	たんたん祭り	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
交付金	1,300,000	
協賛金	2,555,000	運営協賛金、花火協賛金
繰越金	661,618	前年度繰越金
雑入	169,212	模擬店出店料等
計	4,685,830	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
使用料及び賃借料	560,788	500,000	250,000	60,788	仮設トイレ使用料、音響関係使用料等
報償費	189,700	150,000	75,000	39,700	猿出演料等
印刷製本費	354,614	150,000	75,000	204,614	チラシ・ポスター印刷、チラシ2回
委託料	614,353	500,000	250,000	114,353	仮設電気工事、警備業務等
消耗品費	8,934	0	0	8,934	会場準備消耗品等
保険料	49,530	0	0	49,530	イベント保険
通信運搬費	29,200	0	0	29,200	切手代
手数料	3,132	0	0	3,132	振込手数料
委託料	2,245,000	0	0	2,245,000	花火打上費用
繰越金	630,579	0	0	630,579	
計	4,685,830	1,300,000	650,000	3,385,830	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	高根沢町
事業名	高根沢町文化祭開催事業
事業主体の名称	高根沢町文化祭開催委員会
代表者の名称	委員長 鶴見 登代
事業主体の所在	栃木県塩谷郡高根沢町大字石末1825
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・設立年月日 昭和53年度から年度毎に設置(単年度清算) ・団体の目的 文化祭の開催により、高根沢町における文化の発展と協働のまちづくりに寄与する。 ・構成員等 文化協会、自主活動文化グループ、小学校等の関連団体
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>【現状】</p> <p>当町では、町や各種団体による講座や体験学習などで文化活動や地域芸能に親しむことを通して、生きがいつくりや郷土愛の醸成に取り組む中で、参加者の文化活動等への意欲の高揚や、普段文化活動等をしていない人にとっては文化活動等をはじめのきっかけとなるよう、多くの人が集い交流を深められる場として文化祭を開催している。</p> <p>【課題】</p> <p>文化祭に参加・来場する人だけでなく、普段から各種団体等で文化活動をしている人の年齢層は比較的高めであり、文化活動等を通じた郷土愛の醸成をさらに推進するためには、より多くの人(特に若い世代)の文化活動等への興味関心を高める必要があることから、若い世代をはじめ、誰もが文化祭に参加・来場しやすい環境をつくることが求められている。</p>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・文化活動を通じて他者の多様性を理解し合い、町で暮らす人の心を豊かにするとともに、郷土愛を醸成する。 ・郷土愛の醸成をはじめ、自治会等での地域コミュニティ活動や地域の居場所づくりのツールになる文化活動を振興する。 ・町の文化関係団体の活動を知る機会をつくり、団体加入などによる生きがいつくり寄与する。
事業概要	<p>【平成30年度】</p> <p>生きがいつくりや文化活動への意欲高揚ひいては郷土愛の醸成を図るため、各文化関係団体が緊密に連携して、以下の内容で作品展示や活動発表の場をつくった。 今年度は町制施行60周年の記念の年であるので、歴史民俗資料館企画展や町民ホール事業(11月9日実施)と連携をした。</p> <p>開催日:平成30年11月3日、4日 開催場所:高根沢町町民ホール、高根沢町農村環境改善センター、高根沢町歴史民俗資料館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民が交流し、参加するイベントを行った。 ・ステージ発表、作品展示等において、各団体が連携した。 ・会場内中庭に高根沢ローカルフード等の出店を依頼し、世代を問わず来場するよう働きかけた。 ・場内スタンプラリーを実施し、展示・発表会場を来場者が回遊してイベントに参加するよう促した。 ・公民館講座の参加者にの学習の成果を展示・発表する機会をつくり、生涯学習のすそ野を広げた。 ・作品募集チラシ10,000部、開催案内チラシ10,000部、ポスター50部を配布予定し、イベントPRを図った。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	◆基本目標:地域コミュニティの再編・再構築、数値目標:本町に対する愛着度 平成31年度までに82%

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①祭りの開催準備 ②祭りの開催	①祭りの開催準備 ②祭りの開催	①祭りの開催準備 ②祭りの開催		①祭りの開催準備 ②祭りの開催
事業費	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	1,000,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	1,000,000
うち県交付金	500,000	500,000	500,000	1,500,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	0	0	0	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画課 企画調整係
担当者名	棚木 正肅
電話	028-675-8102
FAX	028-675-2409
E-mail	keiei@town.takanezawa.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	高根沢町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	高根沢町文化祭開催委員会	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
交付金	1,000,000	
計	1,000,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	65,488	65,488	32,744	0	学校部門出演児童生徒参加 記念品等
消耗品費	60,922	60,922	30,461	0	会場設営等消耗品等
印刷製本費	186,613	186,613	93,307	0	チラシ製作費等
通信運搬費	14,400	14,400	7,200	0	郵送料
保険料	19,270	19,270	9,635	0	イベント保険代
委託料	264,629	264,629	132,315	0	部隊音響照明操作等
使用料及び賃借料	190,080	190,080	95,040	0	楽器輸送用トラック代
備品購入費	198,598	198,598	99,299	0	作品展示用備品等
				0	
				0	
計	1,000,000	1,000,000	500,000	0	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合